

ノルウェージャンクルーズラインの 2026 年春夏ヨーロッパクルーズは 寄港地で長時間過ごせる旅程で選択肢が拡大

終日航海日がほぼない長期クルーズや、終日航海日ゼロの 7 泊クルーズも

ノルウェージャン サンは、シーズンを通じて、ブランド初の母港となるデンマークの
コペンハーゲンとフィンランドのヘルシンキ発で 7 泊と 9 泊のクルーズを実施

全 225 クルーズが販売開始。個性ある 150 寄港地のうち、スコットランドのポートルー、
ノルウェーのレイアヴィク(ストード)、スペインのパラモスへは NCL 初寄港



フレンチポリネシアでの
ノルウェージャン スピリット



サントリーニ島での
ノルウェージャン ビバ

2024 年 8 月 28 日(東京) -世界クルーズ旅行のイノベーター・ノルウェージャンクルーズライン(NCL)が、北ヨーロッパ、地中海、ギリシャの島々への寄港地滞在重視型 2026 年ヨーロッパクルーズの販売を開始。日程や訪れる港も様々に、8 隻の客船がヨーロッパでの夢の休暇の実現に向けて出航します。

8 隻を導入してのヨーロッパクルーズは、7 泊のものを中心に展開。その多くは終日航海日を含まない、または極力少なくしたもので、それぞれのデスティネーションでの没入体験がますます充実したものとなります。7 泊から 14 泊のクルーズは、アイスランドのレイキャヴィークやトルコのイスタンブールを含む 23 寄港地にオーバーナイトステイ。ディナーやナイトライフを、時間を気にせず楽しむことができます。訪れる国は全 10 か国。出航地は、初めて母港となるフィンランドのヘルシンキを含む 11 港。いずれも乗船地と下船地は誰もが憧れるヨーロッパの都市で、まさに夢のヨーロッパ旅行をクルーズで実現するチャンスです。寄港地には、NCL として初めて訪れるスコットランドのポートルー、ノルウェーのレイアヴィク(ストード)、スペインのパラモスが含まれます。



ノルウェー・ジャンクルーズライン社長、デビッド・J・ヘレラは「NCLでは、お客様の旅行計画に、さまざまなオプションを提供できることに誇りを持っております。没入型のクルーズから、新たなディスティネーションで始まり、新たなディスティネーションで終わるクルーズまで、ゲストには安心して旅を続け最大限に満喫いただけるよう、あらゆる面で最高のサービスを提供するよう努力しております」と語っています。

ノルウェー・ジャンクルーズライン アジア太平洋地区副社長兼マネージングダイレクターのベン・エンジェルは「2026年ヨーロッパコレクションで、ますます充実したヨーロッパ体験の機会をご提供できることを嬉しく思います。リトアニアやノルウェーの知られざる宝石から地中海の人気スポット、そしてヘルシンキからの初出航を含む充実のバルト海シーズンまで、8隻の客船が11の出航地を起点に、44の新企画旅程を含む180以上の旅程をご用意し、夢のヨーロッパ旅行実現のお手伝いをさせていただきます。また、複数のクルーズをつなげたり、1週間のクルーズの前後に例えばイスタンブール、バルセロナ、リスボンなどの地上ツアーを組み合わせてたりすることもできます」と語ります。

また、一生に一度は行きたい南太平洋、温暖な気候の夏の西カリブ海、秋のカナダとニューイングランドへのクルーズも今回同時に販売開始となります。

今回販売開始 225クルーズのハイライトは：

北ヨーロッパ

2026年6月から10月にかけて、ノルウェー・ジャン サンが7泊から10泊のクルーズで[バルト海](#)へ。出航地はデンマークのコペンハーゲンまたは NCL にとって初の母港となるフィンランドのヘルシンキ。ノルウェー、ドイツ、ポーランド、リトアニア、スウェーデンなどの町をほぼ毎日訪れます。ヘルシンキ(フィンランド)発の9泊クルーズの一部は、デンマークのコペンハーゲンでオーバーナイトステイ。街の歴史探訪や、レストランやナイトライフを夜遅くまで楽しめます。

ノルウェー・ジャン スカイは、2026年4月19日より、北部の都市を訪れる7泊クルーズを4日程で催行。乗船地はフランスのル・アーブル。ドイツのハンブルクでオーバーナイトステイ。ベルギーのゼーブルージュ、イギリスのティルベリー、オランダのアイモイデンを訪れます。その後、2026年5月から9月にかけて10泊と11泊の[ブリテン諸島](#)クルーズを行い、5月17日にはスコットランドのポーターリーに初寄港します。

北欧の白夜を体験できるのがノルウェー・ジャン スターで2026年5月から9月に10泊または11泊で実施の[アイスランドとグリーンランド](#)へのクルーズ。出航地はアイスランドのレイキャヴィークまたはイギリスのサウサンプトン。クルーズの前後に乗船地または下船地で陸上での休暇を延長することもできま



す。2026年5月21日、NCLはノルウェーのレイアヴィク(ストード)に初寄港。他の10泊クルーズの一部も同港に寄港します。11泊のアイスランドクルーズは、レイキャヴィークでオーバーナイトステイするので、自然の驚異を存分に体感できます。

地中海とギリシャの島々

2026年4月から10月まで、NCLの最新鋭船ノルウェージャン ビバが9泊または10泊の[西地中海とギリシャの島々](#)へのクルーズを実施。ヨーロッパでのんびり休暇を過ごせる旅程で訪れるのはトルコ、マルタ、イタリア、ギリシャ、モンテネグロ、クロアチア。どの日程でも起点と終点は異なる港なので、例えばスペインのバルセロナ、イタリアのベネチア(ラベンナ)、トルコのイスタンブール、イタリアのローマ(チビタベッキア)でクルーズ前後の日程を延長するのもアイデアです。ギリシャの島々への特定クルーズはトルコのイスタンブールでオーバーナイトステイするので、夜遅くまでゆっくり観光できます。

新企画[西地中海7泊クルーズ](#)からハイライト:

- **ノルウェージャン エピック:** スペインのバルセロナからイタリアのローマ(チビタベッキア)まで、または逆方向のクルーズを2026年5月から10月まで実施。寄港地はフランスのニース/モナコ(ヴィルフランシュ)とマルセイユ、イタリアのメッシーナ、サレルノ、そして夜遅くまで停泊するリボルノ。各港での停泊時間は10-17時間あるので、地上観光にたっぷり時間が取れます。
- **ノルウェージャン ドーン:** 乗船地または下船地はスペインのバルセロナまたはポルトガルのリスボン。終日航海日は含まれない寄港地滞在重視のクルーズを2026年4月から10月まで実施。寄港地は夜遅くまで停泊するスペインのパルマ・デ・マヨルカ、同イビザ、ポルトガルのポルティマン、ジブラルタルなど。
- **ノルウェージャン ジェム:** 2026年5月10日、スペインのバルセロナ発でヨーロッパシーズンをスタート。スペインのパラモスにNCLとしての初寄港を果たします。ノルウェージャン ジェムとしての初寄港はイタリアのサレルノとフランスのニース/モナコ(ヴィルフランシュ)。次いでイタリアのベネチア(ラベンナ)からローマ(チビタベッキア)まで、または逆ルートのクルーズを終日航海日なしの旅程で実施。訪れる国はギリシャ、モンテネグロ、クロアチア。一部クルーズはクロアチアのドブロブニク出港が夕方遅くなるので、現地ですっきりと観光ができます。

ノルウェージャン パールで2026年5月から10月まで実施の[ギリシャの島々](#)への7泊クルーズは、美しい島から島へと航跡を描きながら進みます。日程によっては、ギリシャのミコノスやクロアチアのドブロブニクで夕日やディナーまで過ごせるよう遅い時間に出港するものも。イタリアのベネチア(ラベンナ)とギリシャのアテネ(ピレウス)間を双方向で交互に実施。ご希望合わせてどちらかの起点を選ぶことができます。



西カリブ海とカナダ&ニューイングランド

ノルウェー جان エスケープで 2026 年 4 月 12 日から 5 月 10 日まで、ルイジアナ州ニューオリンズ発着で西カリブ海への 7 泊クルーズを実施。2026 年 5 月 24 から 8 月 9 日までは、同じ周遊クルーズをマイアミ発着で。寄港地はメキシコのコスメル、コスタマヤ、ホンジュラスのロアタン(ベイアイランズ)、そしてベリーズ南部にある NCL 所有 75 エーカーの広さを誇るリゾートデスティネーションのハーベストケイ。ノルウェー ジャン エスケープの秋シーズンは、2026 年 8 月 26 日から 10 月までニューヨーク発着で実施のカナダ & ニューイングランドへのクルーズでスタートを切ります。寄港するマサチューセッツ州ボストンに初めてブレイクアウェイプラス船が雄姿を現します。その他の寄港地は、メイン州ポートランド、カナダのニューブランズウィック州セントジョンとノバスコシア州のハリファックス。紅葉のベストシーズンを楽しめませう。

ノルウェー ジャン スピリットで没入型クルーズ

2026 年 4 月 22 日から 7 月 3 日と、同 9 月 17 日から 11 月 17 日まで、ノルウェー ジャン スピリットで 11 泊から 13 泊の南太平洋クルーズを実施。寄港地はニューカレドニア、フィジー、サモア諸島、仏領ポリネシア、ハワイ諸島。乗船する港はオーストラリアのシドニー、仏領ポリネシアのパペーテ、ハワイのホノルル、そして同船初の出航地となるフィジーのラウトカのいずれかから選べます。

アラスカとハワイを一度に経験できるのが「火と氷」と名付けられたクルーズ。ノルウェー ジャン スピリットで行く 16 泊クルーズが 2026 年 7 月 15 日から 9 月 1 日まで、4 日程で実施されます。乗船地はホノルルまたはカナダのバンクーバー。寄港地は夢のような温暖の島ハワイのカフルイ(マウイ島)、ヒロとナウイリウイリ(カウアイ島)、そして涼しい気候のアラスカ州ケチカン、スキヤグウェイ、ジュノー。

ノルウェー ジャンクルーズラインの受賞歴に輝く 19 隻の客船と世界各地のクルーズについての詳細および予約は <https://www.ncl.com/jp/ja/>

ノルウェー ジャンクルーズラインについて

ノルウェー ジャンクルーズラインはその 57 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェー ジャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、450 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェー ジャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンター



NORWEGIAN

CRUISE LINE®

テイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェージャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook 、 Instagram 、 Tik Tok 、 YouTube は @NorwegianCruiseLine 。 Twitter は @CruiseNorwegian。

ノルウェージャンクルーズラインはノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は <https://www.nclhld.com/>

画像提供はノルウェージャンクルーズライン

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア